

付属資料 4. アンケート調査

(1) 区民アンケート

1) アンケート実施の目的

- 高齢者、障害者を中心とした新宿区民を対象として、よく利用する駅やその周辺の道路について、バリアフリーの観点から問題点やニーズ等を把握することを目的にアンケート調査を実施する。
- 本調査の結果は、基本構想の重点整備地区の選定指標として活用する。
- なお本調査は、下記に表すように調査対象を特定の団体に絞っているため、調査結果の活用の際には留意する必要がある

例えば対象に町会連合会を含んでいるため、区役所の利用率が一般区民に比べて高い。区役所からバスを利用している場合もあり、バスの利用率も高くなっていると考えられる。

2) アンケートの調査対象と実施状況

調査対象

- 高齢者、障害者及び一般区民

調査期間

- 平成 15 年 11 月 19 日～平成 15 年 12 月 31 日（配布及び郵送）

配布枚数と回収率（下表参照）

表 高齢者、障害者及び一般区民へのアンケート配布枚数と回収率

調査対象	配布枚数（票）	回収枚数（票）	回収率（％）
高齢者クラブ	250	124	50％
障害者団体連絡協議会	330（内点字10）	118	36％
商店会連合会	306	53	17％
町会連合会	588	179	30％
合計	1474	486	33％

3) アンケートの集計結果

障害のある方とない方では、バリアフリーに対するニーズや意見が異なると考えたので、集計を行う際、「障害のある方」と「障害のない方」に分けて分析した。

4章の問3で障害の部位を回答した方を「障害のある方」とし、それ以外の方すべては「障害のない方」とした。

1章 バリアフリーに関する基礎的知識の把握状況

問1 「交通バリアフリー」という言葉を聞いたことがありますか？

- 「交通バリアフリー」という言葉に対して、障害の有無に関わらず全体の約7割の方が「聞いたことがある」と回答している。

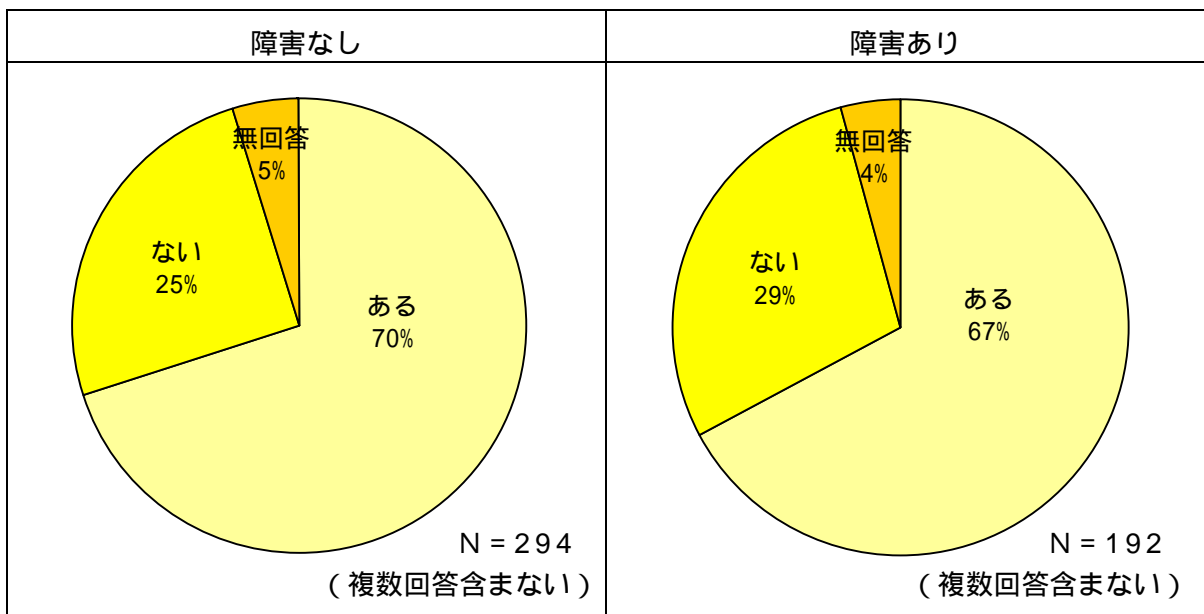


図 交通バリアフリーという言葉の認知度

問2 「交通バリアフリー」といった言葉に、どのようなイメージや考えを持っていますか？

(自由意見)

- 最も多かったイメージや考え方は「段差の解消やエレベーター、エスカレーターの設置」(62票)というハード面の整備であった。
- 次いで多かったのが、「身体障害者や高齢者が安心・安全に移動する」(46票)というソフト面の整備であった。
- 一方で「バリアフリー」というカタカナの表現がわかりにくいので、日本語で標記して欲しいという意見も目立った(25票)。

(具体的な意見内容は別紙参照)

2章 外出について

問1 主にどのような場所・施設への外出が多いですか？(当てはまるものに をしてください。主に出かける施設の具体的な名称(主に公共施設)と住所も教えてください。全く外出しない方は、その理由を教えてください。)

- 障害がない方が最も多く外出する施設は、「商業施設」(20%)であり、次いで多いのは「医療施設」(16%)であった。
- これに対して障害がある方が、最も多く外出する施設は、「医療施設」(25%)であり、次いで多いのは「福祉施設」(22%)であった。
- 主に出かける具体的な施設は、障害がない方は「新宿区役所」(18票)、障害がある方は「新宿区立障害者福祉センター」(34票)が最も多かった。

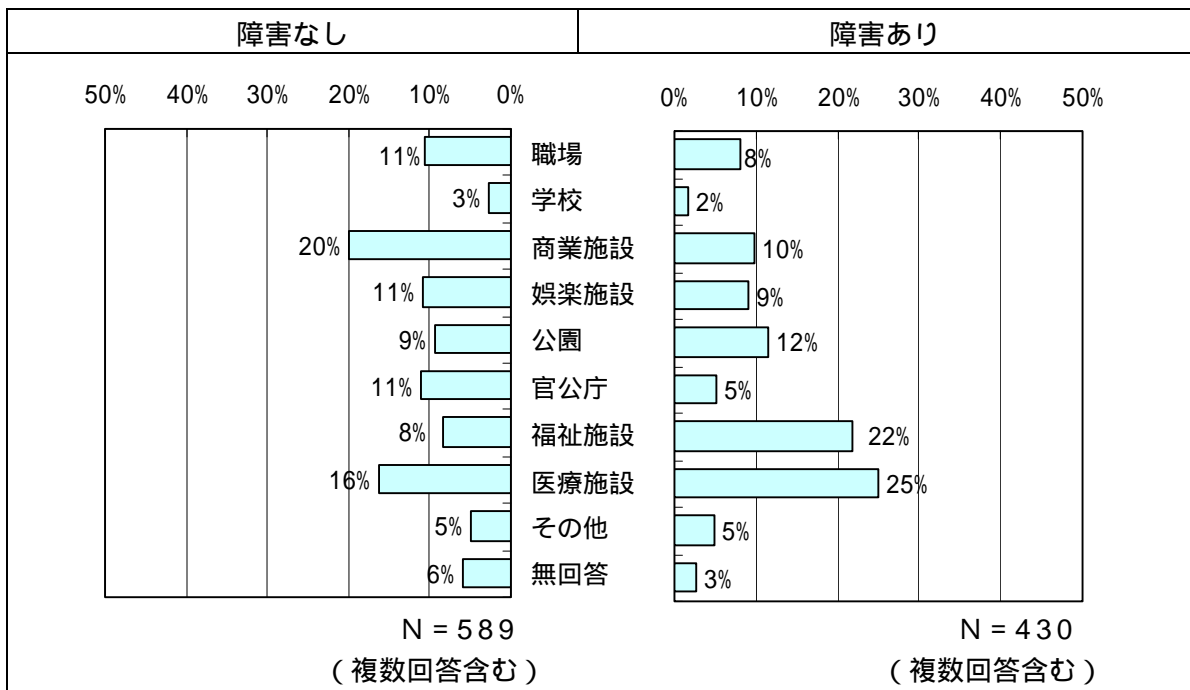


図 主に出かける場所・施設

表 主に出かける具体的な施設（障害なし）

施設名	施設の種類	住所	票数
新宿区役所	官公庁施設	歌舞伎町	18
新宿コスミックセンター	その他	大久保	10
東京女子医大病院	医療施設	河田町	7
柏木地域センター	官公庁施設	北新宿	6
ムツミ	福祉施設	大久保	5
社会保険中央総合病院	医療施設	百人町	5
国立国際医療センター	医療施設	戸山	4
東京厚生年金病院	医療施設	津久戸町	4
慶応義塾大学病院	医療施設	信濃町	4
東京都庁	官公庁施設	西新宿	4
大久保地域センター	官公庁施設	大久保	4
大久保病院	医療施設	歌舞伎町	3
伊勢丹	商業施設	新宿	3
愛住公園	その他	愛住町	2
榎町地域センター	官公庁施設	早稲田町	2
大久保公園	その他	歌舞伎町	2
新宿区障害者福祉センター	福祉施設	戸山	2
京王百貨店	商業施設	西新宿	2
小田急百貨店	商業施設	西新宿	2
高田馬場第二ことぶき館	福祉施設	高田馬場	2

表 主に出かける具体的な施設（障害あり）

施設名	施設の種類	住所	票数
新宿区立障害者福祉センター	福祉施設	戸山	34
ムツミ	福祉施設	大久保	11
新宿コスミックスポーツセンター	公共施設	大久保	6
あすなる作業所	福祉施設	戸山	6
新宿西共同作業所ラバンス	福祉施設	上落合	6
新宿区役所	官公庁施設	歌舞伎町	6
東京女子医大病院	医療施設	河田町	5
国立国際医療センター	医療施設	戸山	5
慶応義塾大学病院	医療施設	信濃町	4
戸山公園	その他	大久保	4
東京厚生年金病院	医療施設	津久戸町	3
大久保病院	医療施設	歌舞伎町	3
社会保険中央病院	医療施設	百人町	3
三越	商業施設	新宿	3
オフィスクローバー	福祉施設	高田馬場	3
大久保地域センター	官公庁施設	大久保	2
いなげや	商業施設	北新宿	2
あゆみの家	福祉施設	西新宿	2
東京医科大学	医療施設	西新宿	2
東京警察病院	医療施設	千代田区	2
四ツ谷地域センター	官公庁施設	内藤町	2
代々木病院	医療施設	渋谷区	2
ヒロオカクリニク	医療施設	新宿	2

票数 2 票以上を挙げた。

施設名は住所の分かる具体的な名称のみとし、「デパート」や「映画館」等の集合名称はカウントしていない。

「あすなる作業所」は「新宿区立障害者福祉センター」敷地内にある。

問 2 外出する主な目的は何ですか？（当てはまるものに をつけてください。2 つまで）

- 障害がない方は、「買い物・食事」(31%)が最も多く、次いで多いのは「散歩・街歩き」(19%)であった。
- これに対して障害がある方は、「通院」(28%)が最も多く、次いで多いのが「買い物・食事」(24%)であった。

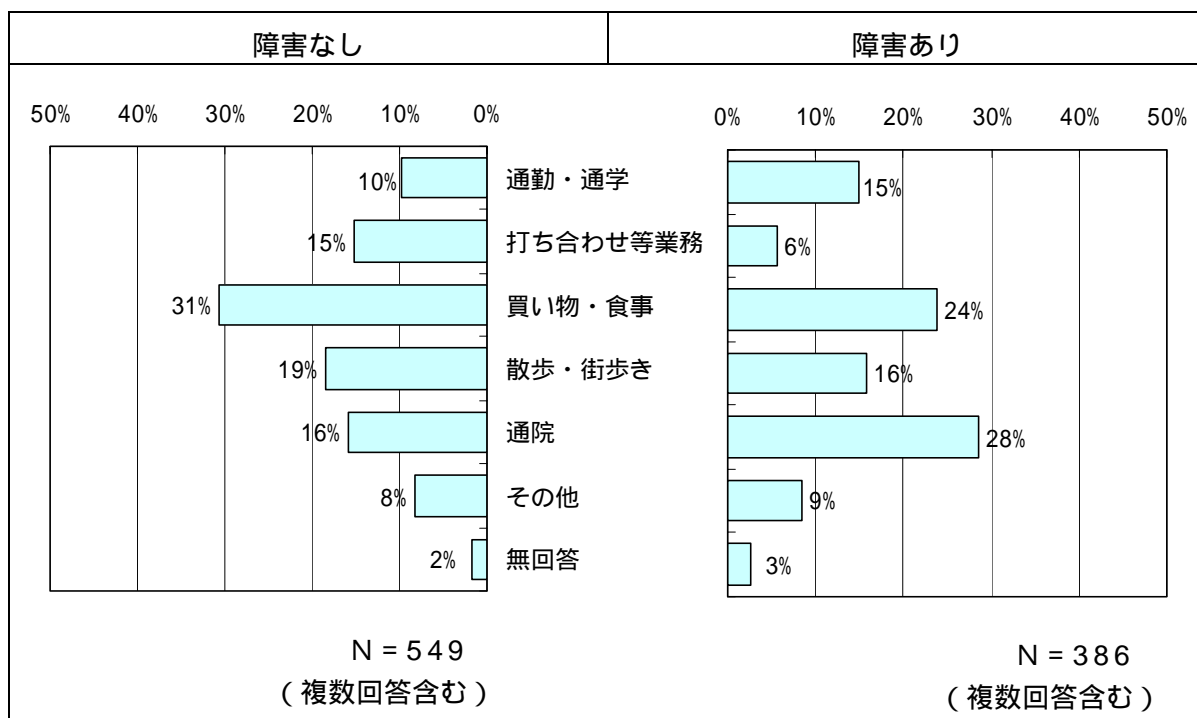


図 外出する主な目的

問3 外出する際の主な手段は何ですか？（当てはまるものにつけてください。2つまで）

- 障害がない方は、「徒歩」(34%)が最も多く、次いで多いのは「鉄道」(19%)であった。
- これに対して障害がある方は、「バス」(23%)が最も多く、次いで多いのが「徒歩」(22%)であった。

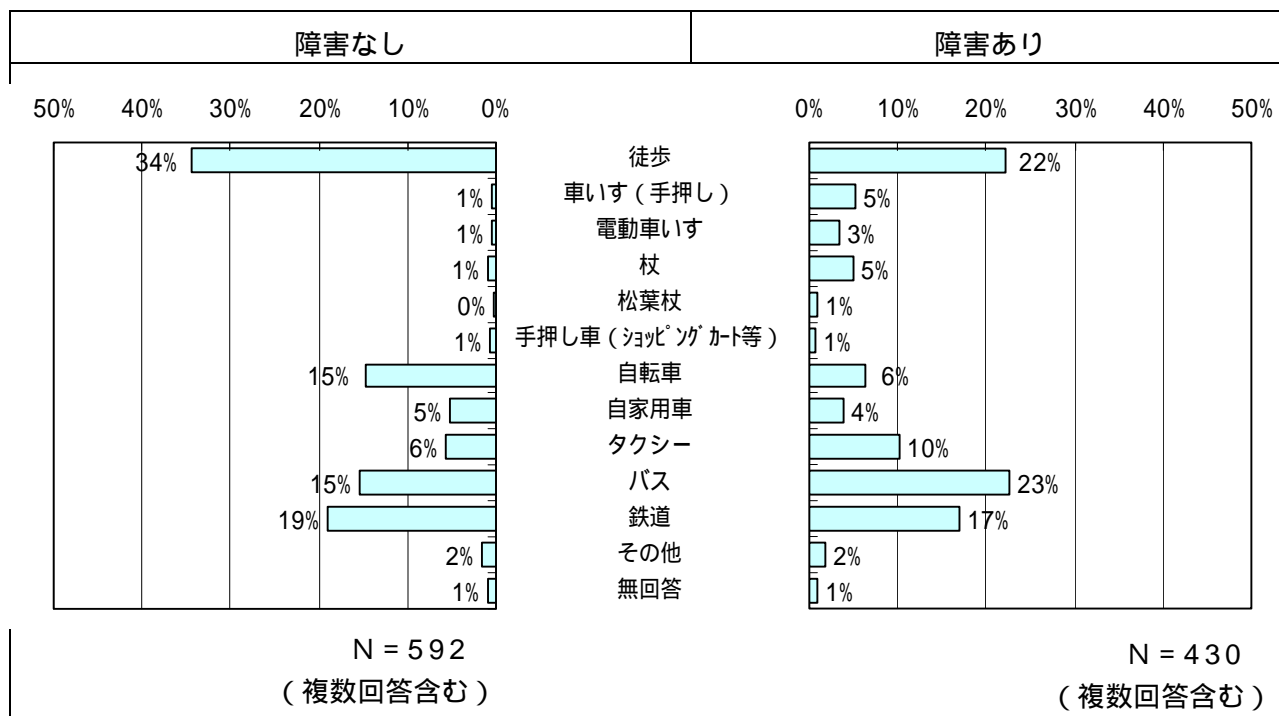


図 外出時の主な交通手段

問 4 外出時に身体上の困難や負担を感じますか？また外出時に付き添いを必要としますか？

(当てはまるものに をしてください。)

- 障害がない方は、約 9 割が外出時に困難や支障を感じることなく、付き添いも必要としていない。
- これに対して、障害がある方は、約 4 割が外出時に困難や支障を感じており、約 3 割が付き添いを必要としている。

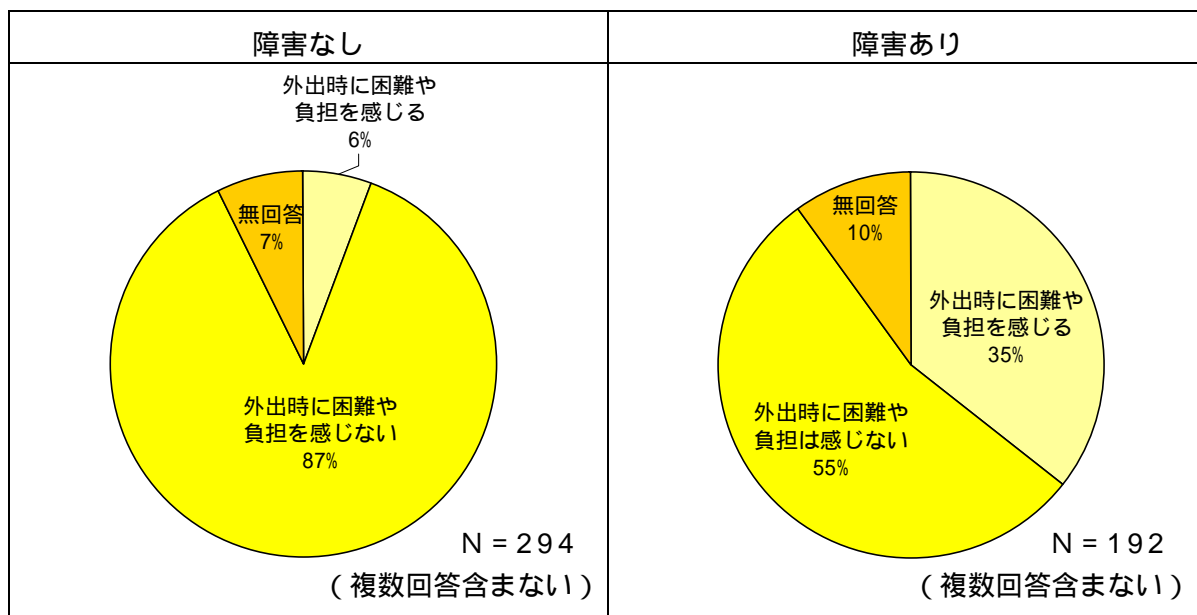


図 外出時に困難や負担を感じるか

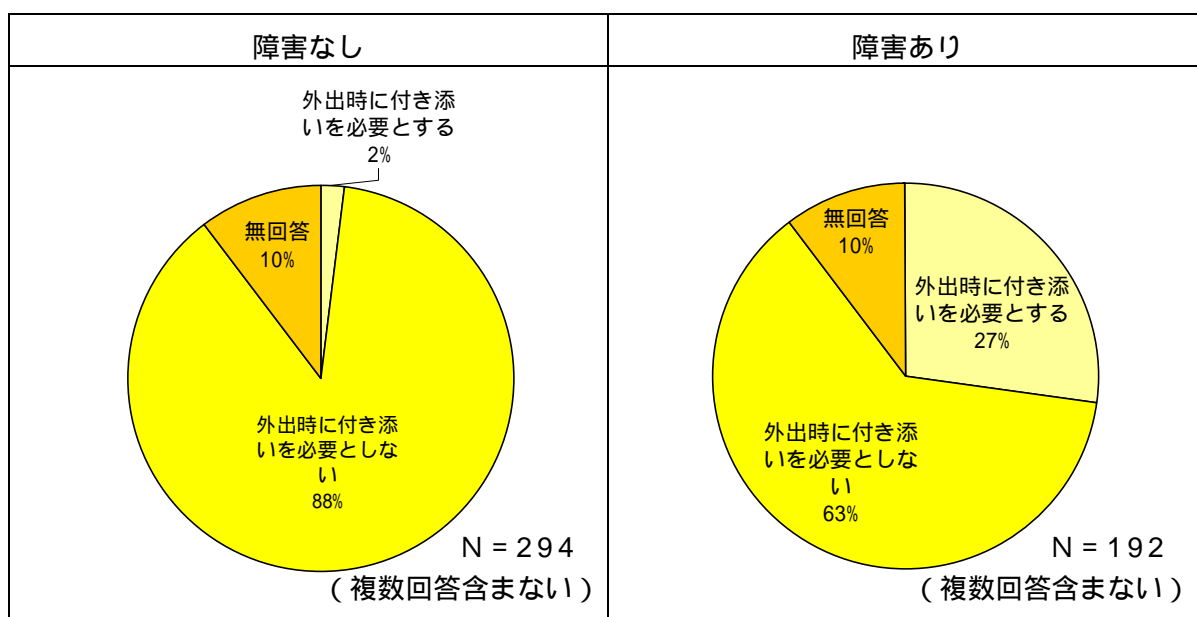


図 外出時に付き添いを必要とするか

問 5 外出の頻度はどのくらいですか？(当てはまるものに をしてください。)また外出している時間は主に何時間程度 ですか？ 外出1回当たりの時間,長期旅行・出張等は除く。

- 外出の頻度については、障害の有無による意見の相違はあまりなく、同じような傾向が見られ、「ほぼ毎日」外出している割合が約半数を超えていた。
- 外出時間については、障害がない方(平均 3.7 時間)よりも障害がある方(平均 4.0 時間)の方が長かった。

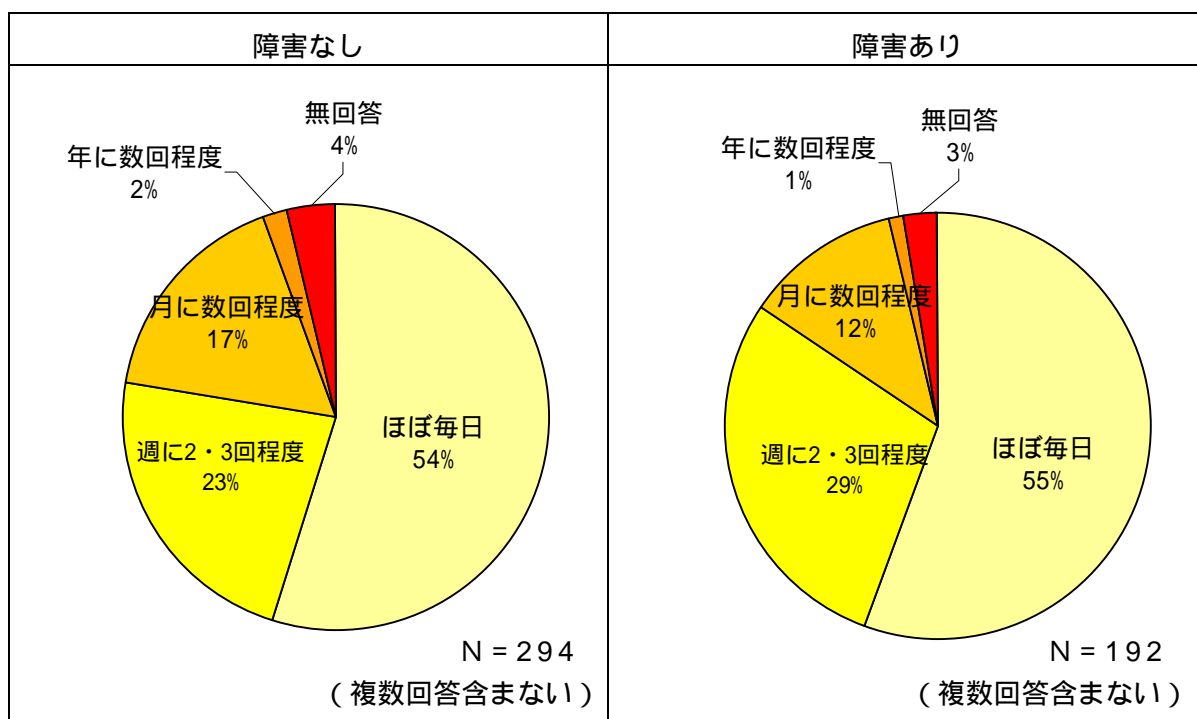


図 外出の頻度

障害なし	障害あり
外出1回あたりの時間 平均 3.7 時間 (N = 231)	外出1回あたりの時間 平均 4.0 時間 (N = 157)

問 6 よく利用する鉄道の路線・駅をお教えてください。(2 つまでお選びください。無い場合は問 7 へ)また鉄道や駅を利用する際、通行の支障と感じていることは何ですか?(下記選択肢より各駅に対し 2 つまでお選び下さい。)またその場所も教えてください。(改札口付近等)

- 障害がない方については、よく利用する駅の上位 3 位は、「新宿」(57 票)「高田馬場」(43 票)「新大久保」及び「四ツ谷」(21 票)であった。
- これら 4 駅について、支障を感じる内容をまとめると、以下のことがわかった。
- 新宿は「鉄道の混雑」を最も支障と感じており、エスカレーターがなかったり、通路が狭いことも混雑の要因となっている。
- 高田馬場は「エスカレーターがない」、「エレベーターがない」ことを最も支障と感じており、また、「無回答」が 8%と他の 2 駅に比べて少ないことから、支障を感じていることがより多いと予想される。
- 四ツ谷は、「無回答」が 43%と他の支障よりも割合が多く、他の 2 駅に比べても多いことから、支障を感じていることがより少ないと予想される。

表 よく利用する鉄道駅(障害なし)

よく利用する駅	票数	全体の割合
新宿	57	13%
高田馬場	43	9%
新大久保	21	5%
四谷	21	5%
四谷3丁目	18	4%
大久保	16	4%
早稲田	15	3%
市ヶ谷	14	3%
中井	14	3%
曙橋	12	3%
信濃町	12	3%
新宿3丁目	12	3%
飯田橋	10	2%
東新宿	9	2%
落合南長崎	8	2%
牛込柳町	7	2%
神楽坂	7	2%
新宿御苑前	6	1%
西新宿	6	1%
下落合	5	1%
牛込神楽坂	4	1%
若松河田	4	1%
西新宿5丁目	4	1%
落合	3	1%
新宿西口	1	0%
西武新宿	1	0%
都庁前	1	0%
国立競技場駅	1	0%
その他の駅	69	15%
無回答	53	12%

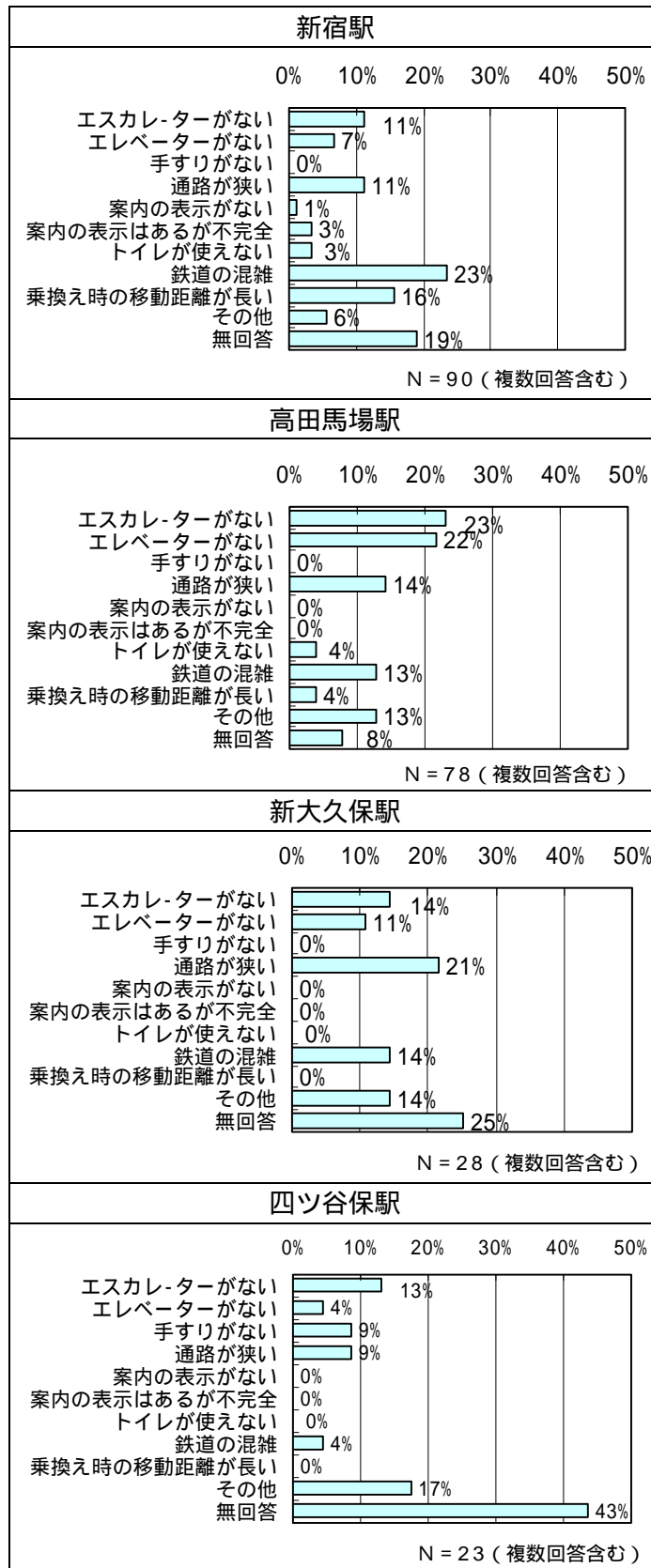


図 駅利用時に支障を感じること(上位3駅)(障害なし)

- 障害がある方については、よく利用する駅の上位3位は、「高田馬場」(38票)、「新宿」(24票)、「中井」(14票)となった。
- これら3駅について、支障を感じる内容をまとめると、以下のことがわかった。
- 高田馬場は「エスカレーターがない」ことを最も支障と感じており、また、「無回答」が17%と他の2駅に比べて少ないことから、支障と感じていることが多いと予想される。
- 新宿は「鉄道の混雑」を最も支障と感じており、次いで多いのが「乗り換え時の移動距離が長い」となっている。
- 中井は、「無回答」が最も多い。36%と他の2駅に比較すると多いことから、支障を感じている割合が少ないと予想される。

表 よく利用する鉄道駅(障害あり)

よく利用する駅	票数	全体の割合
高田馬場	38	13%
新宿	24	9%
中井	14	5%
早稲田	12	4%
若松河田	12	4%
新大久保	11	4%
新宿御苑前	8	3%
大久保	6	2%
市ヶ谷	6	2%
東新宿	6	2%
四谷3丁目	5	2%
飯田橋	5	2%
落合	5	2%
牛込柳町	4	1%
落合南長崎	4	1%
曙橋	3	1%
信濃町	3	1%
神楽坂	3	1%
西新宿	2	1%
新宿3丁目	2	1%
新宿西口	2	1%
西武新宿	2	1%
四谷	1	0%
牛込神楽坂	1	0%
西新宿5丁目	1	0%
その他の駅	50	18%
無回答	52	18%

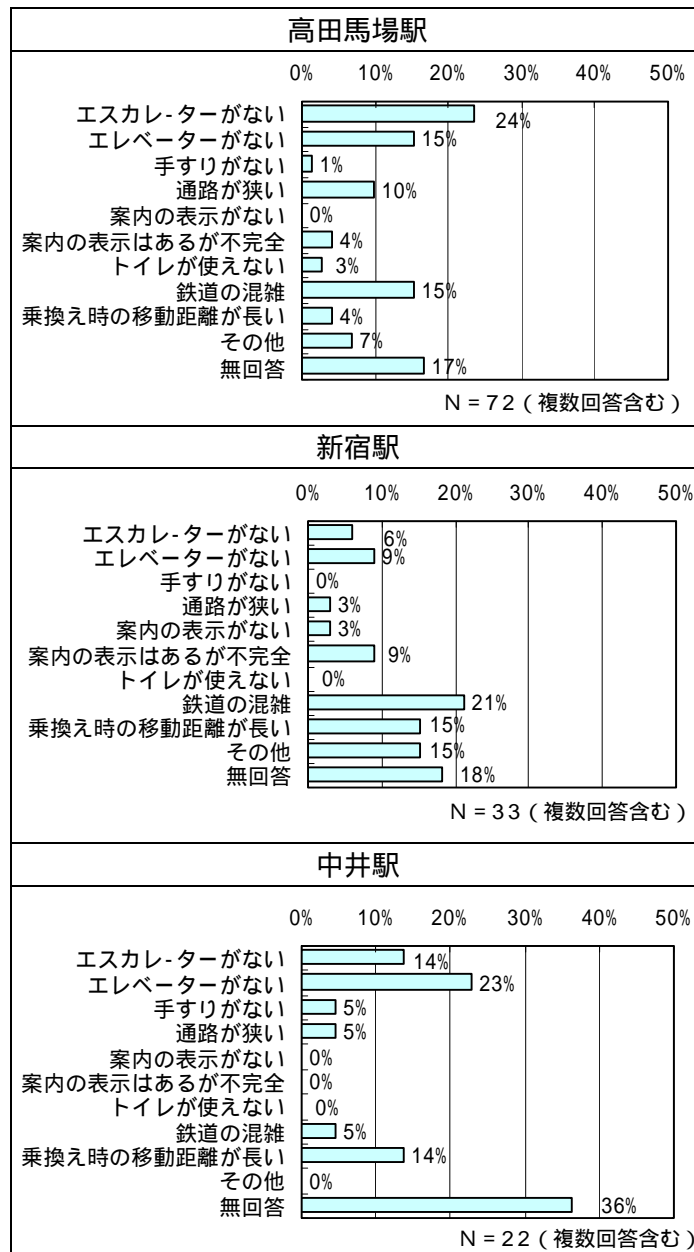


図 駅利用時に支障を感じること(上位3駅)(障害あり)

問 7 外出する際に、よく利用する経路をお教えてください。(自宅～ 通り～最寄駅名もしくは目的地名等) またなぜそのルートを利用するのか、教えてください。(交通量が少ない、歩道がしっかりできている等)

- 障害がない方について最も多く利用されている経路は、「大久保通り」であり、次いで多かったのは「早稲田通り」であった。
- 利用する理由は、上記の 2 経路とともに「最短ルートである」、「歩道が整備されている」等の意見が多かった。
- 障害がある方についても、最も多く利用されている経路は、「大久保通り」であり、次いで多かったのは「早稲田通り」であった。
- 利用する理由は、「通勤のため」、「最短ルートである」の意見に加え、「電動車いすが通りやすい」等の意見もあった。

表 よく利用する経路とその理由(障害なし)

よく利用する経路	票数	利用する理由(主な意見)	経路利用時の主な利用駅
大久保通り	19	・最短ルートである ・歩道が整備されている	・大久保駅、 ・新大久保駅、 ・牛込柳町駅、 ・牛込神楽坂駅 等
早稲田通り	18	・最短ルートである ・歩道が整備されている ・買い物に便利	・高田馬場駅、 ・早稲田駅 等
新宿通り	16	・歩道が広く安心 ・最短ルートである	・四ツ谷駅、 ・四谷三丁目 等

表 よく利用する経路とその理由(障害あり)

よく利用する経路	票数	利用する理由(主な意見)	経路利用時の主な利用駅
大久保通り	17	・通勤のため ・自動車が少ない	・大久保駅、 ・新大久保駅、 ・若松河田駅 等
早稲田通り	14	・最短ルートである ・買い物に便利 ・バスが通っている	・高田馬場駅、 ・早稲田駅 等
明治通り	11	・最短ルート ・通勤のため	・東新宿駅、 ・新大久保駅 等

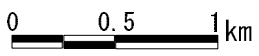
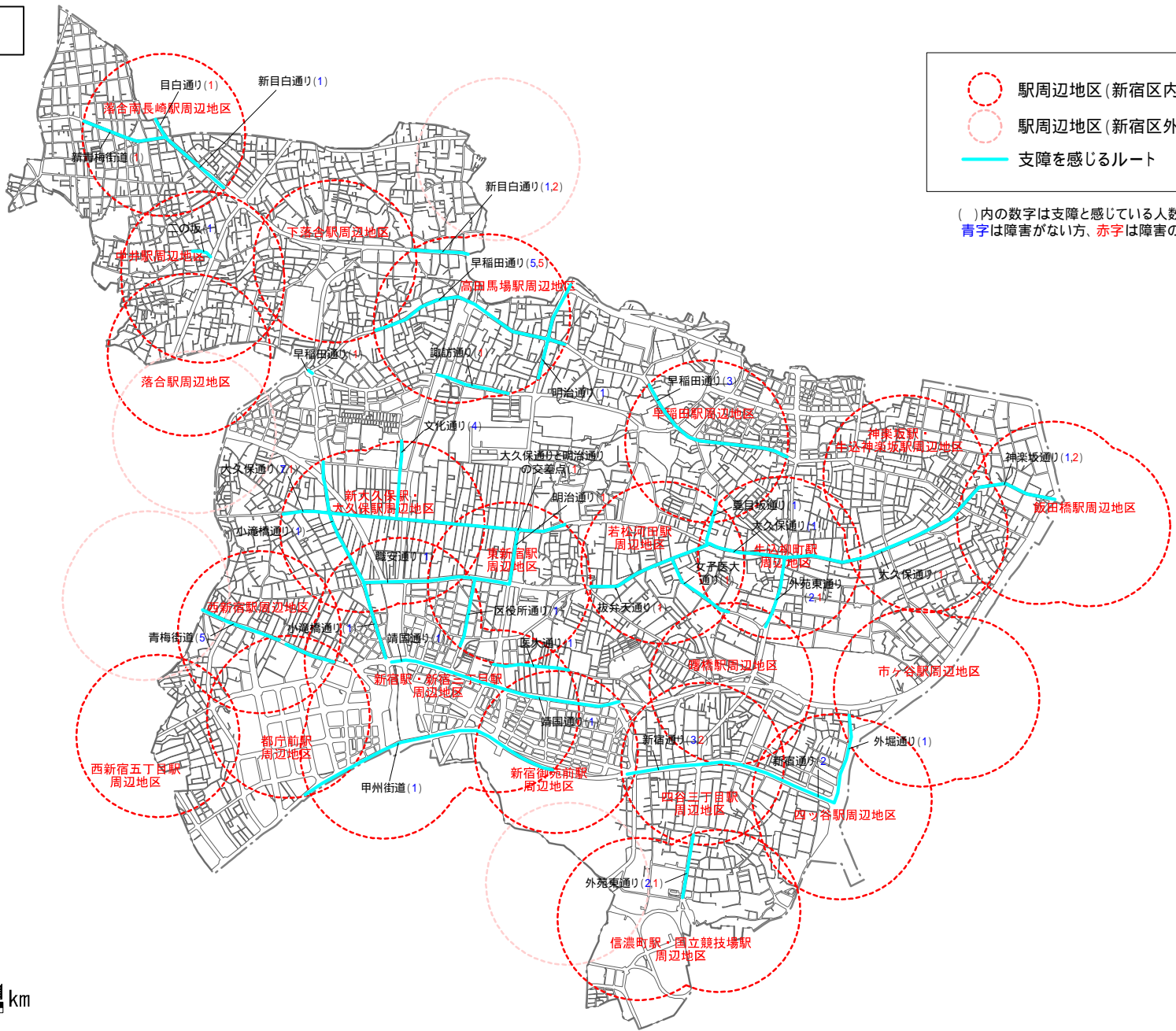
問 8 問 7 でお答え頂いた経路について、通行の支障と感じている場所はどこですか？また通行の支障と感じていることも教えてください。(当てはまるものに をしてください。2 つまで)

(次頁図面「支障を感じるルート」参照)

支障を感じるルート
(アンケート結果による)

- 駅周辺地区 (新宿区内の駅)
- 駅周辺地区 (新宿区外の駅)
- 支障を感じるルート

()内の数字は支障と感じている人数
青字は障害がない方、赤字は障害のある方

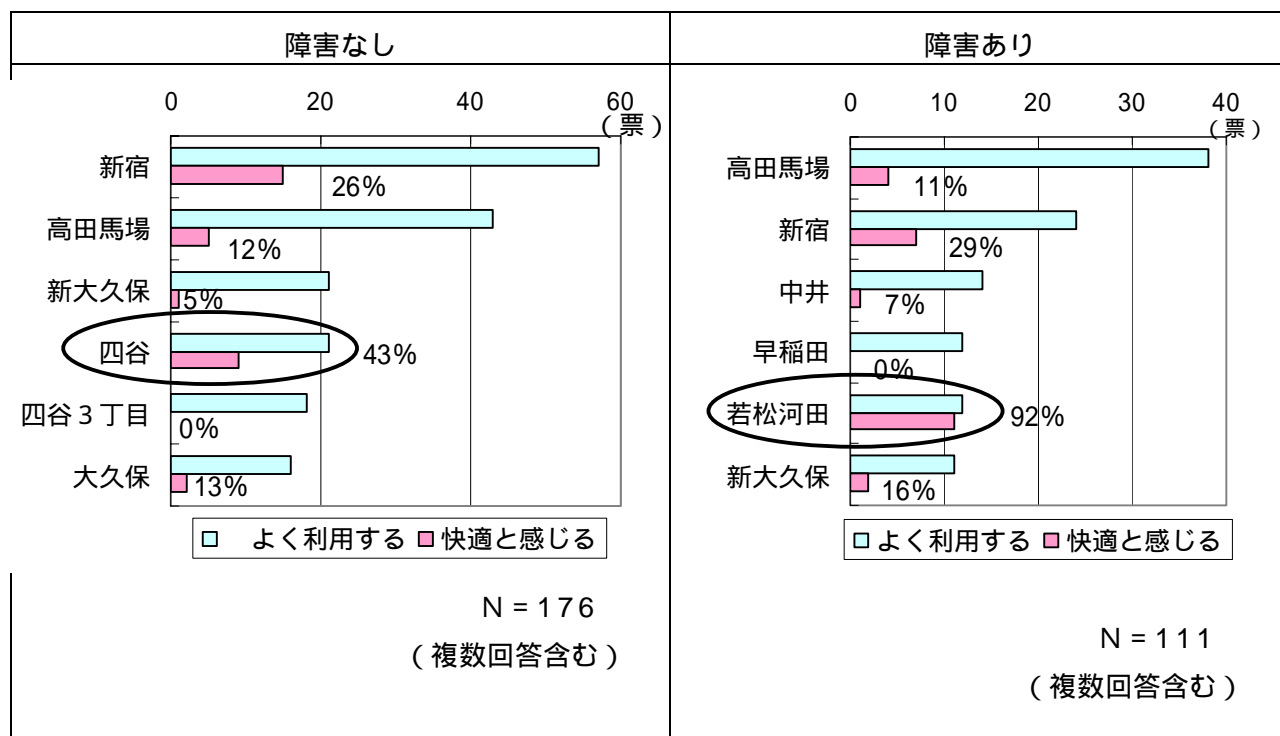


問 9 外出する際、快適だと感じる場所はどこですか？（駅と道路）また快適と感じることも教えてください。（当てはまるものに をしてください。2 つまで）

【快適と感じる駅について】

- よく利用する駅の上位それぞれ 5 位について、快適と感じる割合を示した。
- 障害がない方については、よく利用する上位 5 駅のうち、最も快適度が高い駅は、「四ツ谷」であり、最も快適度が低い駅は、「四ツ谷三丁目」であった。
- 障害がある方については、よく利用する上位 5 駅のうち、最も快適度が高い駅は、「若松河田」であり、最も快適度が低い駅は、「早稲田」であった。

快適度については、「快適と感じる駅」の票数を「よく利用する駅」の票数（p12 問 6 参照）で割った値とした。例えば、新宿駅（障害なし）の場合は、「快適と感じる駅」の票数 15 ÷ 「よく利用する駅」の票数 57 = 0.26 となり、快適度は 26% となる。



図中の数字 (%) は快適度の割合

図 よく利用されている駅の快適な割合

【快適と感じる道路について】

- 「都庁周辺の道路」を快適と感じている方が多かった。理由は「景観がよい」、「街路樹がある」をあげている。
- また「新宿通り」を快適と感じている方も多かった。理由は「歩道がある」等をあげている。

問 10 交通バリアフリーのまちづくりとしてあなたが必要だと思う事項はなんですか？（当てはまるものに をしてください。2 つまで）

- 障害の有無による意見の相違はあまりなく、同じような傾向が見られた。
- 「違法駐輪・駐車解消などの道路マナーの向上」を求める意見が最も多かった。

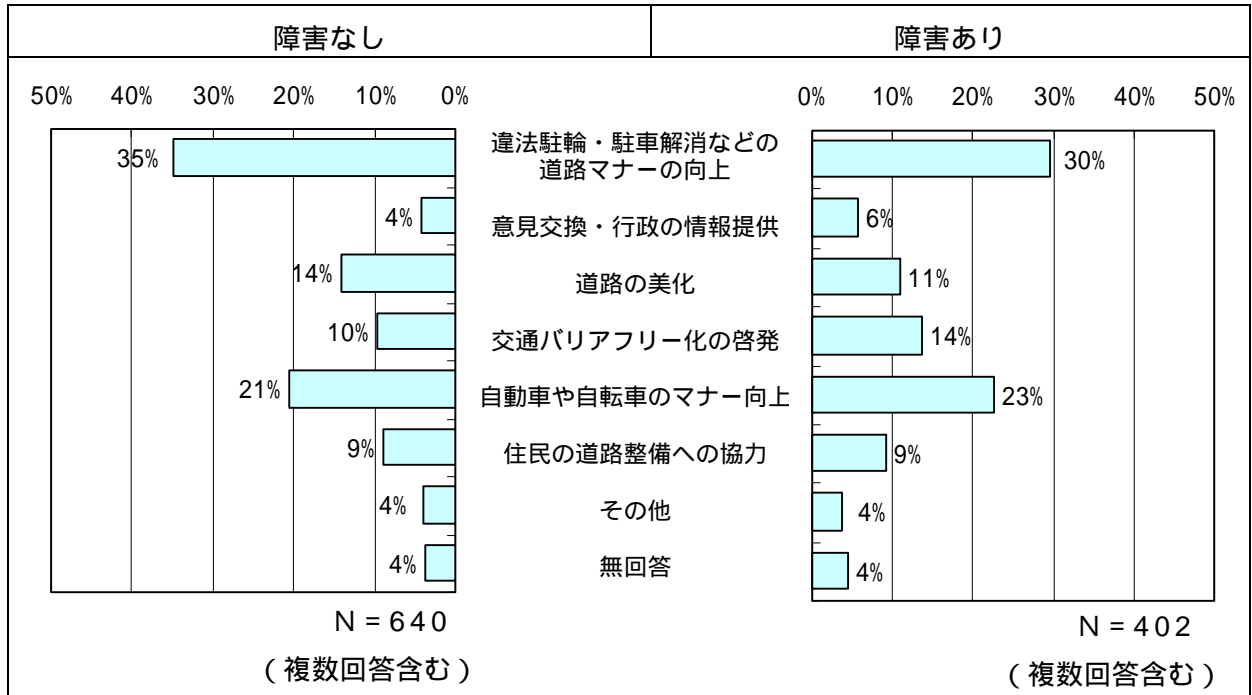


図 交通バリアフリーのまちづくりとして必要だと思うこと

3章 その他

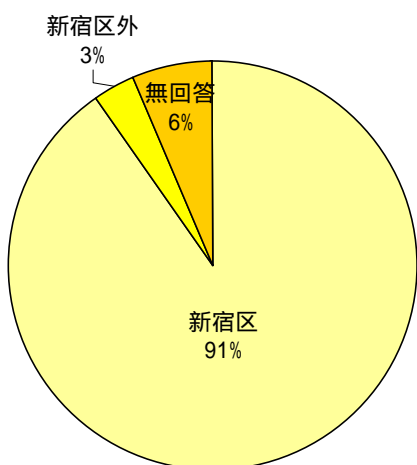
問 1 区内の鉄道駅や公共施設、道路等について、より快適に外出できるまちづくりを進めるため、自由なご意見やご要望をお教えてください。

- 鉄道駅について最も多かった意見は「エレベーター・エスカレーターの設置や段差の解消」(44票)であった。
- 道路について最も多かった意見は「違法駐車・違法駐輪に対する取締まり」(61票)であった。
- また、マナーの向上や健常者と障害者の相互理解等を求める意見も多かった。

(具体的な意見内容は別紙参照)

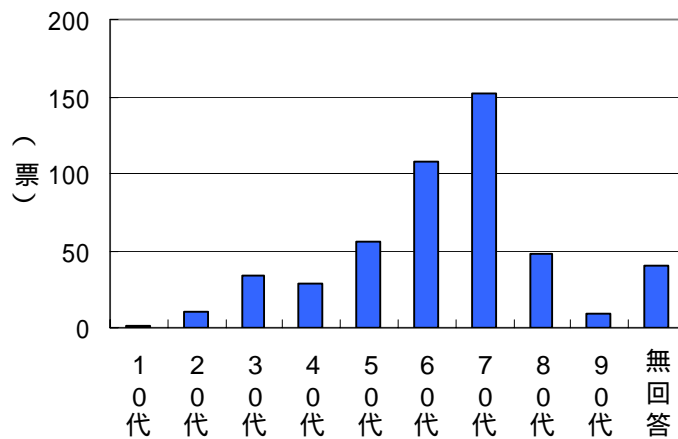
4章 回答者の属性

回答者の住所



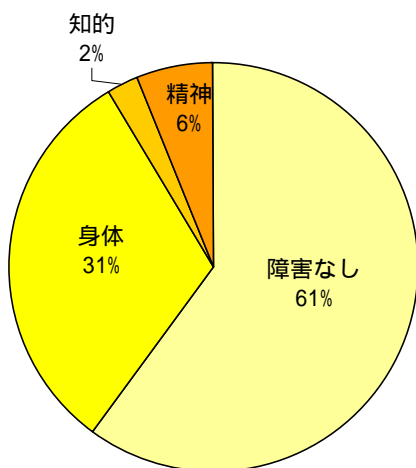
N = 486
(複数回答含まない)

回答者の年齢



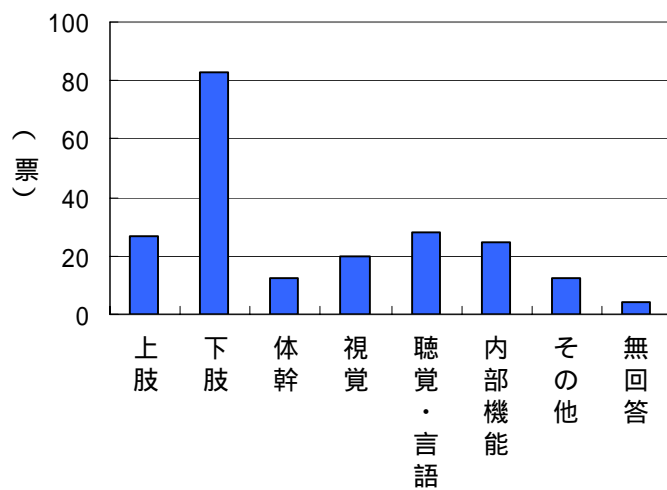
N = 486
(複数回答含まない)

回答者の障害の有無



N = 490
(複数回答含む)

「身体」の方の部位



N = 211
(複数回答含む)

(2) 駅利用者アンケート

1) アンケートの調査対象と実施状況

<p>調査対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新宿駅の利用者
<p>調査期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 15 年 12 月 16 日、21 日 (はがき配布)
<p>配布枚数と回収率 (下表参照)</p>

表 新宿駅利用者のアンケート配布枚数と回収率

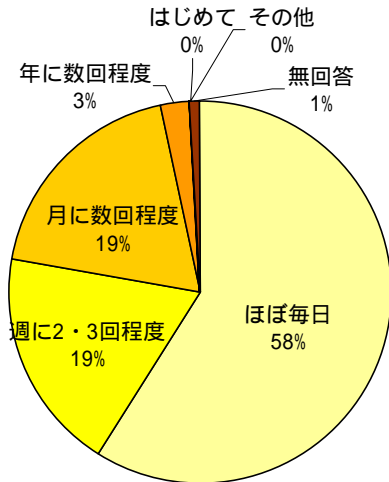
調査対象	平日			休日			合計		
	配布枚数 (票)	回収枚数 (票)	回収率 (%)	配布枚数 (票)	回収枚数 (票)	回収率 (%)	配布枚数 (票)	回収枚数 (票)	回収率 (%)
JR 西口	200	20	10%	103	5	5%	303	25	8%
JR 東口	200	16	8%	110	5	5%	310	21	7%
都営新宿線 ・大江戸線	117	26	22%	200	10	5%	317	36	11%
小田急線	161	18	11%	145	3	2%	306	21	7%
営団丸の内線	150	21	14%	170	7	4%	320	28	9%
京王線	91	16	18%	46	13	28%	137	29	21%
計	919	117	13%	774	43	6%	1693	163	10%

2) アンケート調査結果

平日の駅利用者と休日の駅利用者では、属性が異なると考えたので、集計を行う際、「平日の駅利用者」と「休日の駅利用者」に分けて分析した（問題点やまちづくりに対する意見は分けていない）。

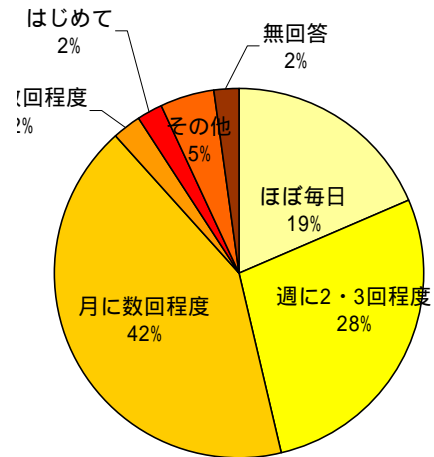
新宿駅の利用頻度

- 平日の駅利用者は、「ほぼ毎日」が最も多く全体の約 6 割であった。
- 休日の駅利用者は、「月に数回程度」が最も多く全体の約 4 割であった。
- 平日休日合わせると、「ほぼ毎日」利用する人の割合が最も多い。



N = 117

新宿駅の利用頻度（平日の駅利用者）
（複数回答は含まない）

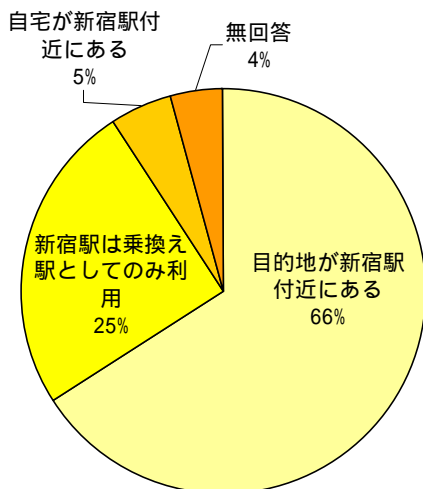


N = 43

新宿駅の利用頻度（休日の駅利用者）
（複数回答は含まない）

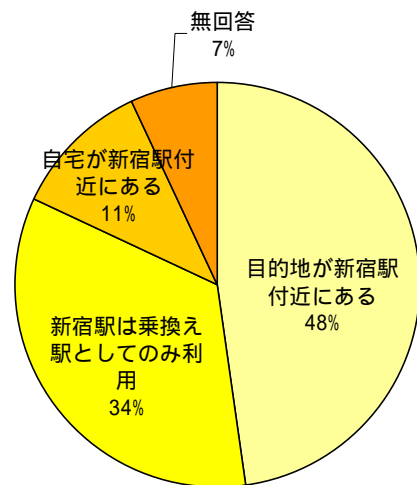
新宿駅を利用する理由

- 平日駅利用者は、「目的地が新宿駅付近にある」が最も多く全体の約 7 割であった。
- 休日駅利用者も、「目的地が新宿駅付近にある」が最も多く全体の約 5 割であった。
- 平日休日ともに、新宿駅を目的地へ移動するための手段として利用する人が多い。



N = 120

新宿駅の利用理由（平日の駅利用者）
（複数回答を含む）

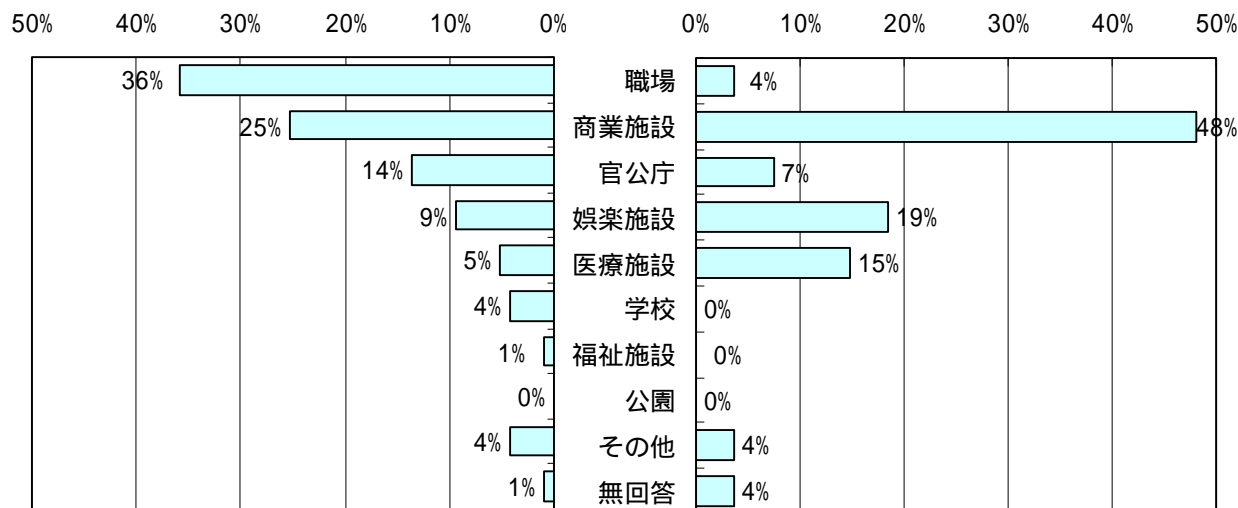


N = 44

新宿駅の利用理由（休日の駅利用者）
（複数回答を含む）

新宿駅周辺でよく利用する施設

- 平日の駅利用者は、「職場」が最も多く全体の約 4 割であった。
- 休日の駅利用者は、「商業施設」が最も多く全体の約 5 割であった。



N = 95

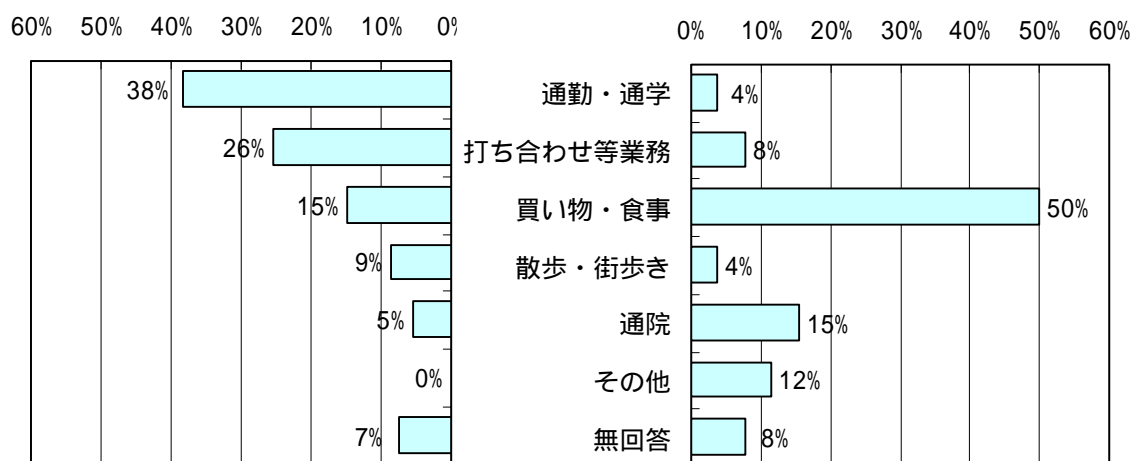
N = 27

新宿駅付近でよく利用する施設（平日）
（複数回答を含む）

新宿駅付近でよく利用する施設（休日）
（複数回答を含む）

新宿駅周辺でよく利用する施設に行く際の目的

- 平日の駅利用者は、「通勤・通学」が最も多く、全体の約 4 割であった。
- 休日の駅利用者は、「買い物・食事」が最も多く、全体の約 5 割であった。



N = 94

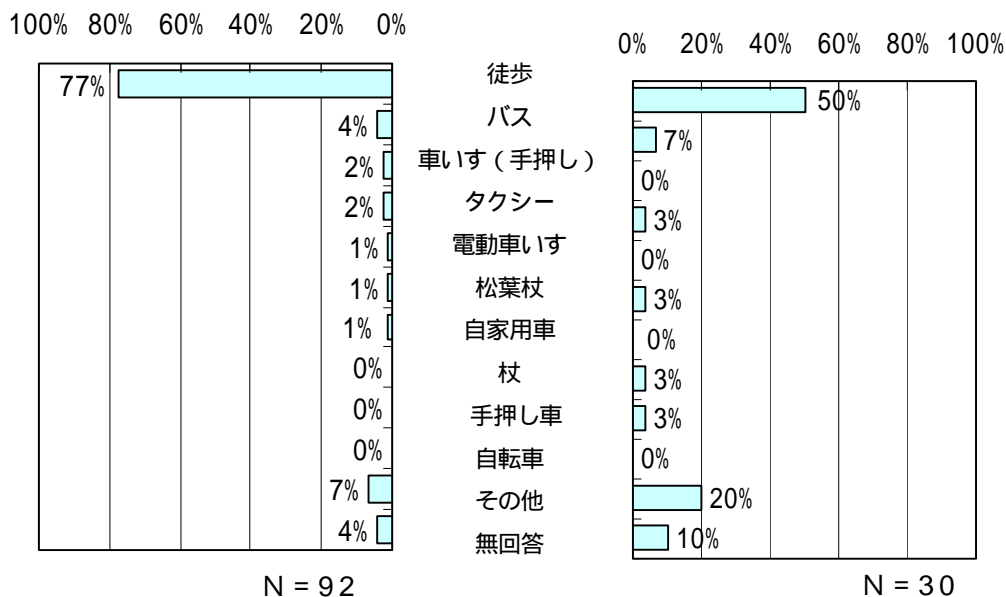
N = 26

施設に行く主な目的（平日）
（複数回答を含む）

施設に行く主な目的（休日）
（複数回答を含む）

目的地と新宿駅間、もしくは自宅と新宿駅間の移動手段

- 平日の駅利用者は、「徒歩」が最も多く全体の約 7 割であった。
- 休日の駅利用者も、「徒歩」が最も多く全体の約 5 割であった。

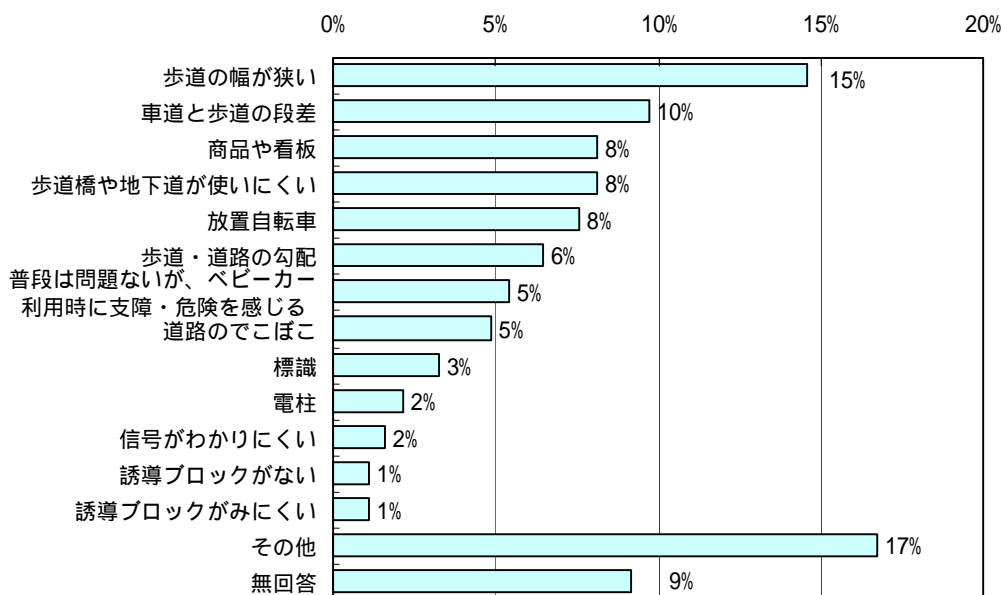


目的地・自宅と新宿駅間の移動手段 (平日) 目的地・自宅と新宿駅間の移動手段 (休日)
 (複数回答を含む) (複数回答を含む)

ショッピングカート等

目的地と新宿駅間、もしくは自宅と新宿駅間の移動の際、支障や危険を感じること

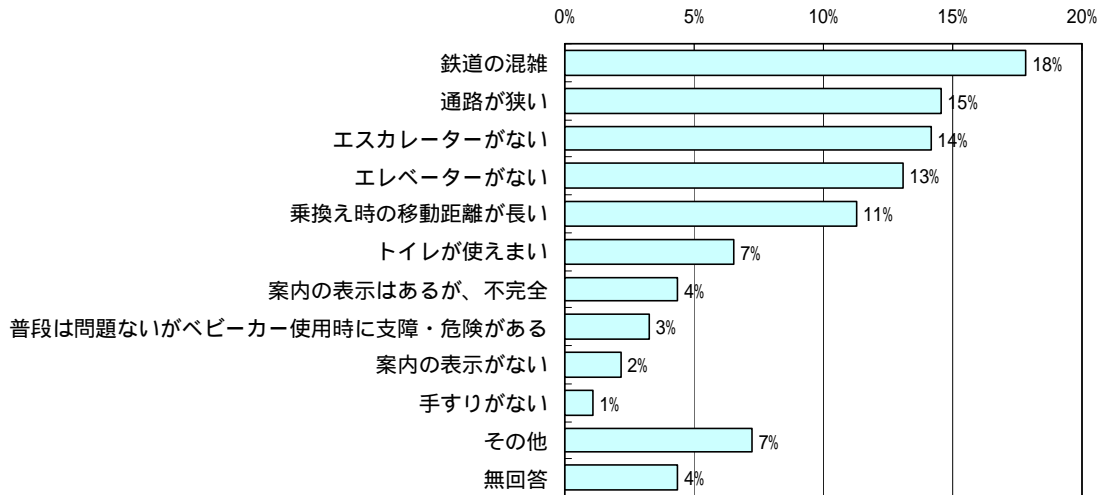
- 「歩道の幅が狭い」が最も多く全体の約 7 割であった。
- また「車道と歩道の段差」が次いで多い(約 1 割)ことから、移動の際、歩道に何らかの問題を感じている人が多い。



N = 185 (複数回答を含む)

新宿駅を利用する際、駅構内、駅間の乗り換えでの移動の際支障や危険を感じること

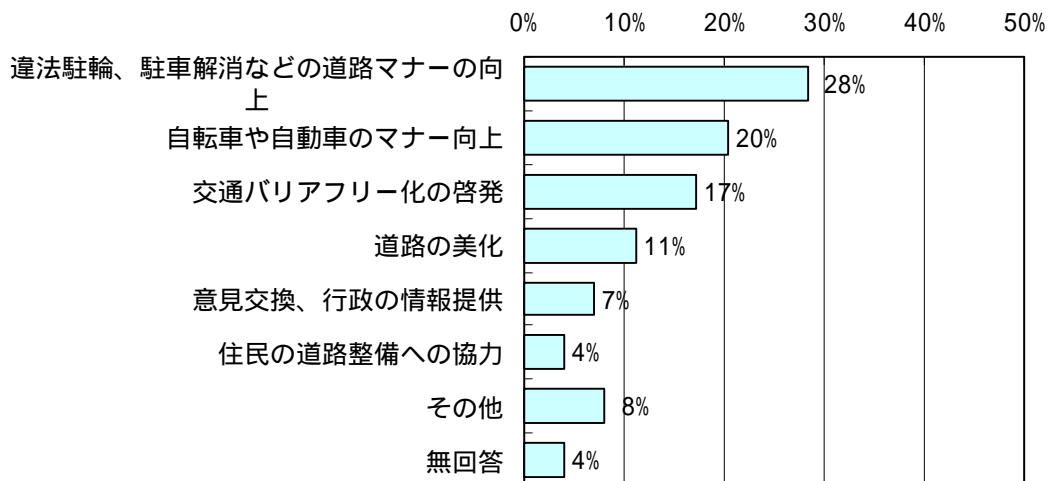
- 最も多い回答は、「鉄道の混雑」で全体の約 2 割であった。
- 次いで多い回答が「通路が狭い」で全体の約 2 割であった。



N = 275 (複数回答を含む)

交通バリアフリーのまちづくりとしてあなたが必要だと思う事項

- 「違法駐輪、駐車解消などの道路マナーの向上」が最も多く、全体の約 3 割であった。
- 「自転車や自動車のマナーの向上」が次いで多く、全体の約 2 割であった。



N = 303 (複数回答を含む)